令和4年度（2022年度）

北海道立特別支援教育センター

研修事業案内

令和4年度（2022年度）の研修事業について

令和４年度（2022年度）の研修事業では、「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿に対応した研修を提供します。

キーワード　研修の質の向上　研修機会の拡大

■　研修の質を高める「研修パッケージ」の導入

当センターの研修講座では、以下の考え方に基づいて研修方法や内容を構成した「研修パッケージ」を提供し、教職員の専門性向上や学校等の課題解決を図ります。

「研修パッケージ」の基本的な考え方

事前研修
- 研修テーマに関する基礎的・基本的事項及び国や道の動向等について学び、課題意識を高めます。

課題の整理
- 学校課題を整理し、解決に向けた自身の役割やゴールを設定します。（プランニングシート）

本研修
- 中央講師等による質の高い講義を通して、最新の動向や先進的な取組等について学びます。
- 交流、演習、協議等により、受講者同士の協働的な学びを実現します。
- 当センターが所有する蔵書、刊行物、資料、展示物、検査器具、ICT機器等の設備・備品等を活用し、個別最適な学びを通して課題解決の方策を検討します。
- 講義や協議等を踏まえ、課題解決に向けた方策（実践プラン）を立てます。

勤務校での実践
- 研修成果を勤務校で報告し、課題解決に向けた方策（実践プラン）に取り組みます。（プランニングシート）

事後研修
- 勤務校での実践について交流し、改善・充実に向けた協議を行います。
- 勤務校での実践の改善・充実に向け、方策や計画を修正するとともに、勤務校や地域への成果の還元方法を検討します。

リフレクション
- 一連の研修を振り返り、勤務校の取組の改善・充実を図ります。（プランニングシート）

研修成果を踏まえた、学校や地域の課題解決に向けた実践

■　課題解決プランニングシート

・受講者が、学校課題等の解決に向けて目的の明確化を図り、各研修段階において、目的の達成に向けた方策や勤務校での取組を進められるよう活用するシートです。
・研修と実践との往還を通して、学校や地域へ成果を還元するため、研修講座全体（事前研修・本研修・事後研修）を通して活用します。

■　いつでもどこからでも研修することのできる「研修用動画」の配信

広域分散型の地理的特徴をもつ本道において、教職員の個別最適な学びをサポートするため、特別支援教育の基礎的・基本的事項に関する質の高い研修用動画を配信します。（17ページ参照）

・場所や時間を選ばず視聴できます。
・20分程度の動画なので、短時間で効率的に学ぶことができます。
・受講者の習得状況に合わせて繰り返し視聴したり、研修テーマに応じて動画を組み合わせて研修したりすることができます。
・特別支援教育の基礎・基本に関する豊富な動画教材を掲載します。

■　多様な研修形態の提供

	研修形態	研修の特長
集合研修	当センターに来所して受講	・当センターの蔵書や資料、器具、設備等の活用が可能 ・講師や受講者同士、所員との多様な関わりを通した協働的な学び
遠隔研修	ウェブ会議サービス（Zoom等）を活用して受講	・遠隔地でも移動を伴わずに受講が可能 ・双方向通信を活用した講師や受講者同士、所員からの助言による学び
配信研修	研修用動画（配信）を視聴して受講	・時間や場所を選ばすに視聴が可能 ・自らの習得状況や研修時間に応じた学び

よくある質問にお答えします

「研修講座」と「自主的コース」の主な違いは何ですか？

「研修の目的」や「旅費の措置」などが、次のように異なります。

	研修講座	自主的コース
研修の目的	・主に学校や地域の課題の解決が目的であり、<u>研修後の実践を通して成果を学校や地域へ還元します。</u>	・主に受講者の知識・技能の習得が目的であり、<u>研修の成果を自身の指導や業務に生かします。</u>
旅費の措置	・集合研修の旅費が措置されます。	・旅費の措置はありません。

もくじ

１　研修講座
⑴ 目的、分類、一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
⑵ 各研修講座（６講座）
研修講座１【課題研修】特別支援教育摂食実技研修講座・・・・・・・・・・・・・２
研修講座２【専門研修】教育相談実践研修講座・・・・・・・・・・・・・・・・・３
研修講座３【専門研修】特別支援教育ＩＣＴ活用研修講座・・・・・・・・・・・・４
研修講座４【課題研修】特別支援教育専門性向上研修講座・・・・・・・・・・・・５
研修講座５【専門研修】自立活動研修講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
研修講座６【専門研修】寄宿舎指導員研修講座・・・・・・・・・・・・・・・・・７

２　自主的コース
⑴ 目的、分類、一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
⑵ 各自主的コース（５コース）
自主的コース１【基本コース】特別支援教育基本セミナー・・・・・・・・・・・・９
自主的コース２【基本コース】特別支援教育コーディネーター基本コース・・・・・・10
自主的コース３【基本コース】幼稚園等特別支援教育コース・・・・・・・・・・・11
自主的コース４【基本コース】高等学校特別支援教育コース・・・・・・・・・・・12
自主的コース５【基本コース】通常の学級における特別支援教育コース・・・・・・13

３　公開講義
目的、一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

４　研修支援
目的、内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
令和４年度に配信を予定している研修用動画一覧・・・・・・・・・・・・・・・・17

５　受講・申込手続
⑴ 研修講座の受講手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
⑵ 自主的コースの受講手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
⑶ 公開講義の受講手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
⑷ 研修支援の申込手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

６　受講ガイド
⑴ 研修講座の受講ガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
⑵ 自主的コースの受講ガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
⑶ 公開講義の受講ガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

７　アクセス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

1　研修講座

◆　目的

学校力の向上や地域の特別支援教育の取組の充実、特別支援教育に関する今日的な課題解決などを目的に研修を行います。

◆　分類

学校や地域の課題等に応じて、次の２つの分類により研修を行います。

専門研修	学校や地域において、特別支援教育を推進していく上で求められる専門的な知識や技能の習得を目指します。
課題研修	北海道の特別支援教育の現状を踏まえ、喫緊の課題の解決に向けた知識や技能の習得を目指します。

◆　一覧

番号	講　座　名	期　日		定員	掲載ページ
1	【課題研修】 特別支援教育摂食実技研修講座	事前研修	8月1日～8月23日	10名	2ページ
		本研修	8月24日～8月25日		
		事後研修	10月25日		
2	【専門研修】 教育相談実践研修講座	事前研修	9月5日～9月27日	30名	3ページ
		本研修	9月28日～9月29日		
		事後研修	11月29日		
3	【専門研修】 特別支援教育ＩＣＴ活用研修講座	事前研修	9月30日～10月18日	80名	4ページ
		本研修	10月19日		
		事後研修	12月20日		
4	【課題研修】 特別支援教育専門性向上研修講座	事前研修	10月11日	60名	5ページ
		本研修	11月1日		
		事後研修	1月19日		
5	【専門研修】 自立活動研修講座 [ベーシックコース・アドバンスコース]	事前研修	10月26日～11月16日	各コース 50名	6ページ
		本研修	11月17日		
		事後研修	1月26日		
6	【専門研修】 寄宿舎指導員研修講座	事前研修	11月17日～12月7日	60名	7ページ
		本研修	12月8日		
		事後研修	2月8日		

研修講座１　**摂食及び嚥下に課題のある幼児児童生徒に安心・安全な摂食指導を行うために**

【課題研修】

特別支援教育摂食実技研修講座

摂食及び嚥下に課題のある幼児児童生徒に安心･安全な摂食指導が行えるよう、摂食･嚥下に関する基礎的な知識・技能を身に付けます。

対象：本講座を未受講の特別支援学校の自立活動教諭、摂食等に課題のある幼児児童生徒の指導を担当している教諭
※養護教諭、栄養教諭を含む
定員：10名

事前研修

【配信】 ８月１日（月）～　８月23日（火）

随時	【説明１】研修講座の受講に当たって（10分） 【講義１】安心・安全な摂食指導に関する動向及び課題（20分） 北海道教育庁学校教育局特別支援教育課職員・当センター所員 【講義２】給食場面のリスク管理について１（20分）　自立活動教諭 【講義３】給食場面のリスク管理について２（20分）　自立活動教諭 【説明２】課題解決プランニングシート作成について（５分）

課題の整理

◆　摂食指導において、本研修講座を通して改善・充実を図りたい課題を整理し、課題解決プランニングシートに記入します。《８月１日（月）16:00 Webページ掲載 ～ ８月15日（月）提出〆切》

本研修

【集合】 ８月24日（水）		**【集合】** ８月25日（木）	
		9:00	【講義・演習２】食形態と口腔機能の発達について 自立活動教諭
9:20	受付		
9:50 10:00	【開講・オリエンテーション】	10:00	
10:00	【特別講義】《公開①》摂食及び嚥下に課題のある幼児児童生徒の口腔機能や嚥下機能について 北海道医療大学病院歯科客員教授 木　下　憲　治　氏	10:10 11:00	【講義・演習３】食形態１（ヨーグルト） 自立活動教諭
		11:10	【講義・演習４】食形態２（固形） 自立活動教諭
12:00		12:00	
12:00 13:00	昼食・休憩		
13:00	【講義・演習１】粗大運動の発達（摂食のための姿勢）、呼吸と嚥下、オーラルコントロールについて 自立活動教諭	13:00 14:00	【講義・演習５】摂食場面の上肢操作について 医療関係者
14:10		14:10	【講義・演習６】食形態３（水分） 自立活動教諭
14:20	【基調講義】《公開②》障がいのある幼児児童生徒の安心・安全な摂食指導に係る心身の発達及びリハビリテーションについて 北海道立子ども総合医療・療育センター長 續　　晶　子　氏	15:00	
		15:10	【講義・演習７】摂食に関するアセスメントと記録
16:20		16:00	自立活動教諭
		16:10	【講義の振り返り・実践プラン作成・閉講】
16:20 16:30	【講義の振り返り】	16:30	

勤務校での実践

◆　課題解決プランニングシートの実践プランに基づいた取組について記録します。
《10月14日（金）提出〆切》

事後研修

【遠隔】 10月25日（火）

13:00	【交流・協議】安全・安心な摂食指導に係る指導の工夫・改善 ※課題解決プランニングシートに基づいた交流・協議
14:30	当センター所員
14:40 15:20	【講義４】安全・安心な摂食指導に係る指導の充実に向けて 自立活動教諭
15:20 15:30	【講座の振り返り】

リフレクション

◆　本研修講座について課題解決プランニングシートを用いて振り返り、研修の成果を還元するとともに、勤務校での実践の改善を図ります。《11月25日（金）提出〆切》

研修講座２　特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への教育相談等の充実を図るために

【専門研修】

教育相談実践研修講座

特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の理解を深めるための教育相談等で必要となる知識・技能を身に付けます。

対象：特別支援学校教員
※「教育相談指導者養成講習（特別支援学校）」継続登録者
小・中学校、高等学校教員
※市町村教育委員会から教育相談員等の任命を受けている方
定員：30名

事前研修

【配信】 ９月５日（月）～　９月27日（火）

随時
【説明１】研修講座の受講に当たって（10分）
【講義１】教育相談の基本について（20分）
【講義２】心理検査について（20分）
【講義３】ＷＩＳＣ－Ⅳの基本（20分）
【説明２】課題解決プランニングシートの作成について（５分）

課題の整理

◆　教育相談において、本研修講座を通して改善・充実を図りたい課題を整理し、課題解決プランニングシートに記入します。《９月５日（月）16:00 Webページ掲載 ～ ９月20日（火）提出〆切》

本研修

【集合】 ９月28日（水）		**【集合】** ９月29日（木）	
		9:00	【講義・演習２】心理検査（ＷＩＳＣ－Ⅳ）の解釈と事例検討 当センター所員
9:20	受付		
9:50 10:00	【開講・オリエンテーション】		
10:00	【基調講義】《公開③》幼児児童生徒理解と保護者支援に視点を当てた教育相談 北海道教育大学函館校特任教授 青　山　眞　二　氏	10:20	
		10:30	【講義４】教育相談担当者における業務の実際 小・中学校教員 特別支援学校教員
12:00		12:00	
12:00 13:00	昼食・休憩		
13:00	【講義・演習１】心理検査（ＷＩＳＣ－Ⅳ）の理解と実際 当センター所員	13:00	【協議１】教育相談の改善・充実に向けて１ 当センター所員 小・中学校教員 特別支援学校教員
16:20		16:10	
16:20 16:30	【講義の振り返り】	16:10 16:30	【講義の振り返り・実践プラン作成・閉講】

勤務校での実践

◆　課題解決プランニングシートの実践プランに基づいた取組について記録します。
《11月18日（金）提出〆切》

事後研修

【遠隔】 11月29日（火）

13:00
【協議２】教育相談の改善・充実に向けて２
※課題解決プランニングシートに基づいた交流・協議
14:50　当センター所員

14:50
15:00
【講座の振り返り】

リフレクション

◆　本研修講座について課題解決プランニングシートを用いて振り返り、研修の成果を還元するとともに、勤務校での実践の改善を図ります。《12月28日（水）提出〆切》

研修講座３　特別な教育的支援を必要とする児童生徒へのＩＣＴを活用した指導の充実を図るために

【専門研修】

特別支援教育ＩＣＴ活用研修講座

特別な教育的支援を必要とする児童生徒にＩＣＴを活用した適切な指導・支援を行う上で必要な知識・技能を身に付けます。

対象：特別支援学校教員
※校内においてＩＣＴ活用を推進又は実践している方

定員：80名
※原則、各学校１名とする。

事前研修

【配信】 ９月30日（金）～　10月18日（火）

随時	【説明１】研修講座の受講に当たって（10分） 【講義１】ＩＣＴ活用の基本的な考え方（20分） 【講義２】特別支援教育におけるＩＣＴ活用（20分） 【講義３】ＧＩＧＡスクールにおける本道の先進的な取組等について ＩＣＴ教育推進局ＩＣＴ教育推進課職員 【説明２】課題解決プランニングシートの作成について（５分）

課題の整理

◆　ＩＣＴ活用において、本研修講座を通して改善・充実を図りたい課題を整理し、課題解決プランニングシートに記入します。《９月30日（金）16:00 Webページ掲載 ～ 10月７日（金）提出〆切》

本研修

【遠隔】 10月19日（水）

9:20	受付
9:50 10:00	【開講・オリエンテーション】
10:00 12:00	【基調講義】児童生徒の実態に基づいた効果的なＩＣＴ活用の在り方 一般社団法人SOZO.Perspective代表理事 海老沢　　穣　氏
12:00 13:00	昼食・休憩
13:00 14:00	【講義４】ＩＣＴを活用した指導の実際 特別支援学校教員（小・中学部） 特別支援学校教員（高等部）
14:10 16:10	【交流・協議１】ＩＣＴ活用の改善・充実に向けて１ ①各教科等の指導に関わる実践 ②学校生活や家庭との連携に関わる実践 ③遠隔教育・訪問教育に関わる実践 当センター所員
16:10 16:30	【講義の振り返り・実践プラン作成・閉講】

勤務校での実践

◆　課題解決プランニングシートの実践プランに基づいた取組について記録します。
《12月９日（金）提出〆切》

事後研修

【遠隔】 12月20日（火）

13:00 14:50	【交流・協議２】ＩＣＴ活用の改善・充実に向けて２ ※課題解決プランニングシートに基づいた交流・協議 当センター所員
14:50 15:00	【講座の振り返り】

リフレクション

◆　本研修講座について課題解決プランニングシートを用いて振り返り、研修の成果を還元するとともに、勤務校での実践の改善を図ります。《１月20日（金）提出〆切》

研修講座４　学校や地域のリーダーとして、高い専門性を発揮していくために

【課題研修】

特別支援教育専門性向上研修講座

各障がい種の教育課題の解決に向けた協議等を通して、担当する障がい種における特別支援教育の充実を図る取組を推進する力を身に付けます。

対象：特別支援学校教員、
小・中学校、高等学校教員
※担当する障がい種において、学校や地域の中核としての役割が期待され、管理職が推薦する教諭

定員：60名
※視覚障がい、聴覚障がい、言語障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱、自閉症・情緒障がい、発達障がい【８部会】

事前研修

【遠隔】10月11日（火）

14:00	【説明１】研修講座の受講に当たって
14:10 16:25	【講義・協議】各障がい種の教育における現状と課題について ※各障がい種別部会による実施 ①視覚障がい　②聴覚障がい　③言語障がい　④知的障がい　⑤肢体不自由　⑥病弱 ⑦自閉症・情緒障がい　⑧発達障がい 当センター所員
16:30	【説明２】課題解決プランニングシートの作成について

課題の整理

◆　担当する障がい種に係る指導において、本研修講座を通して改善・充実を図りたい課題を整理し、課題解決プランニングシートに記入します。《10月11日（火）16:00 Webページ掲載 ～ 10月21日（金）提出〆切》

本研修

【集合】11月１日（火）

9:20	受付
9:50 10:00	【開講・オリエンテーション】
10:00 10:40	【講義】各障がい種における指導の実際 ※各障がい種別部会による実施 ①～⑧同上 教員講師
10:50 12:00	【演習・協議１】各障がい種における指導の改善・充実に向けて１ ※各障がい種別部会による実施 ①～⑧同上 当センター所員 教員講師
12:00 13:00	昼食・休憩
13:00 16:10	【演習・協議２】各障がい種における指導の改善・充実に向けて２ ※各障がい種別部会による実施 ①～⑧同上 当センター所員
16:10 16:30	【講義の振り返り・実践プラン作成・閉講】

勤務校での実践

◆　課題解決プランニングシートの実践プランに基づいた取組について記録します。
《１月10日（火）提出〆切》

事後研修

【遠隔】１月19日（木）

13:00 14:50	【交流・協議】各障がい種における指導の改善・充実に向けて３ ※課題解決プランニングシートに基づいた交流・協議 当センター所員
14:50 15:00	【講座の振り返り】

リフレクション

◆　本研修講座について課題解決プランニングシートを用いて振り返り、研修の成果を還元するとともに、勤務校での実践の改善を図ります。《２月20日（月）提出〆切》

研 修 講 座 ５

幼児児童生徒一人一人の障がいの状態等に応じた自立活動の指導の充実を図るために

【専門研修】

自立活動研修講座

自立活動の意義について理解を深め、指導内容の設定や効果的な指導の在り方を学ぶとともに、各教科等と関連させた指導を行う上で必要な知識を身に付けます。

対象：特別支援学校教員
特別支援学級担当教員
通級指導教室担当教員
※高等学校の通級指導教室担当教員を含む

定員：各50名
ベーシックコース ※基本を身に付けたい方
アドバンスコース ※当該障がい種経験３年以上で高い専門性を身に付けたい方

事前研修

【配信】 10月26日（水）～ 11月16日（水）

随時

【説明１】研修講座の受講に当たって（10分）
【講義１】自立活動の指導の基本について（20分）
【講義２】自立活動の個別の指導計画について（20分）
【選択講義】各障がいにおける自立活動の指導 ※障がい種別で選択（20分）
①視覚障がい ②聴覚障がい ③言語障がい ④知的障がい
⑤肢体不自由 ⑥病弱・身体虚弱 ⑦自閉症・情緒障がい ⑧ＬＤ・ＡＤＨＤ
【説明２】課題解決プランニングシートの作成について（５分）

課題の整理

◆ 自立活動において、本研修講座を通して改善・充実を図りたい課題を整理し、課題解決プランニングシートに記入します。《10月26日（水）16:00 Webページ掲載 ～ 11月７日（月）提出〆切》

本研修

11月17日（木）

	【遠隔】ベーシックコース	【集合】アドバンスコース
9:20	受付	
9:50 10:00	【開講・オリエンテーション】	
10:00 12:00	【基調講義】《公開④》自立活動の意義を踏まえた効果的な指導の在り方 筑波大学大学院名誉教授 安 藤 隆 男 氏	
12:00 13:00	昼食・休憩	
13:00 14:00	【講義３】自立活動の指導の実際 特別支援学校教員 特別支援学級担当教員又は通級指導教室担当教員	【演習・協議】自立活動の指導の改善・充実 ※障がい種別部会による演習・協議 ①視覚障がい ②聴覚障がい ③言語障がい ④知的障がい ⑤肢体不自由 ⑥病弱・身体虚弱 ⑦自閉症・情緒障がい ⑧ＬＤ・ＡＤＨＤ
14:10 16:10	【演習】自立活動の個別の指導計画の作成 当センター所員	当センター所員
16:10 16:30	【講義の振り返り・実践プラン作成・閉講】	【講義の振り返り・実践プラン作成・閉講】

勤務校での実践

◆ 課題解決プランニングシートの実践プランに基づいた取組について記録します。
《１月16日（月）提出〆切》

事後研修

【遠隔】 １月26日（木）

	ベーシックコース	アドバンスコース
13:00 14:50	【交流・協議】自立活動の指導の改善・充実に向けて ※課題解決プランニングシートに基づいた交流・協議 ・ベーシックコース～個別の指導計画に基づく自立活動の指導の実践について ・アドバンスコース～自立活動の指導の改善の取組について 当センター所員	
14:50 15:00	【講座の振り返り】	

リフレクション

◆ 本研修講座について課題解決プランニングシートを用いて振り返り、研修の成果を還元するとともに、勤務校での実践の改善を図ります。《２月27日（月）提出〆切》

研 修 講 座 ６　　特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒一人一人の将来の自立に向けた指導の充実を図るために

【専門研修】

寄宿舎指導員研修講座

幼児児童生徒の障がい特性と関わり方について理解を深め、将来の自立と社会参加に向けた指導や支援に必要な知識を身に付けます。

対象：特別支援学校の専門寄宿舎指導員、寄宿舎指導員

定員：60名

事前研修

【配信】11月17日（木）～　12月７日（水）

随時	【説明１】研修講座の受講に当たって（10 分） 【選択講義１】各障がいについての理解と関わり方について１　※障がい種別で選択（20 分） （視覚障がい・聴覚障がい・知的障がい・肢体不自由） 【選択講義２】各障がいについての理解と関わり方について２　※障がい種別で選択（20 分） （視覚障がい・聴覚障がい・知的障がい・肢体不自由） 【講義１】寄宿舎における学校や保護者との連携について（30 分） 【説明２】課題解決プランニングシートの作成について（５分）

課題の整理

◆　学校や保護者との連携に係り、本研修講座を通して改善・充実を図りたい課題を整理し、課題解決プランニングシートに記入します。《11月17日（木）16:00 Webページ掲載 ～ 11月29日（火）提出〆切》

本研修

【遠隔】12月８日（木）

9:20	受付
9:50 10:00	【開講・オリエンテーション】
10:00 12:00	【基調講義】《公開⑤》生活指導の充実に向けた学校や保護者との連携について 北海道教育大学釧路校教授 小野川　文　子
12:00 13:00	昼食・休憩
13:00 14:30	【講義２】生活指導の充実に向けた学校や保護者との連携の実際 寄宿舎指導員
14:40 16:10	【協議】地域生活に必要な力の育成に向けた学校や保護者との連携 当センター所員
16:10 16:30	【講義の振り返り・実践プラン作成・閉講】

勤務校での実践

◆　課題解決プランニングシートの実践プランに基づいた取組について記録します。
《１月30日（月）提出〆切》

事後研修

【遠隔】２月８日（水）

10:00 11:50	【交流・協議】学校や保護者との連携の改善・充実に向けて ※課題解決プランニングシートに基づいた交流・協議 当センター所員
11:50 12:00	【講座の振り返り】

リフレクション

◆　本研修講座について課題解決プランニングシートを用いて振り返り、研修の成果を還元するとともに、勤務校での実践の改善を図ります。《３月８日（水）提出〆切》

2　自主的コース

◆　目的

教職員等の指導力の向上を目指し、日々の指導や業務を推進するために必要な知識・技能等を身に付けることを目的に研修を行います。

◆　分類

次の２つの分類により、各自主的コースのねらいに応じて研修を行います。

基本コース	日々の指導や業務を推進するために必要な基礎的・基本的な知識や技能の習得を目指します。
専門コース	日々の指導や業務を推進するために必要な専門的な知識や技能の習得を目指します。 ※今年度のコース設定はありませんが、個別的な研修内容や、より専門的な研修内容を希望する場合は、15ページの「研修支援」を御活用ください。

◆　一覧

番号	コース名	期日		定員	掲載ページ
1	【基本コース】 特別支援教育基本セミナー	事前研修	４月22日～５月27日	各期日 80名	9ページ
		本研修	５月第２・３・４週の各１日		
2	【基本コース】 特別支援教育コーディネーター基本コース	事前研修	５月10日～６月２日	50名	10ページ
		本研修	６月３日		
3	【基本コース】 幼稚園等特別支援教育コース	事前研修	７月１日～７月27日	80名	11ページ
		本研修	７月28日		
4	【基本コース】 高等学校特別支援教育コース	事前研修	８月29日～９月19日	50名	12ページ
		本研修	９月20日		
5	【基本コース】 通常の学級における特別支援教育コース［教職員部会・管理職員部会］	事前研修	12月21日～１月12日	教職員部会 50名 管理職員部会 30名	13ページ
		本研修	１月13日		

自主的コース１　　特別支援教育における基礎・基本の理解と授業力の向上のために

【基本コース】

特別支援教育基本セミナー

特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒一人一人に応じた指導や支援に関する知識・技能を身に付けます。

対象：幼稚園等、小・中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教職員、市町村教育委員会職員、保健福祉関係者（保育士）
※主に特別支援教育担当経験年数３年未満の方
定員：各期日80名

事前研修

【配信】 ４月22日（金）～　５月27日（金）

随時	【説明】自主的コースの受講に当たって（10分） 【講義１】特別支援教育の現状と課題　（20分） 【講義２】特別の教育課程について　（20分） 【講義３】特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の理解（20分） 【講義４】特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の指導（20分） 【情報提供】「特別支援学級担任のハンドブック（新訂版）」について（20分） 特別支援教育における現状と課題や特別の教育課程の考え方など、特別支援教育の基本的事項について学びます。

本研修の受講前に、必ず事前研修を受講してください。

本研修

【遠隔】 ５月の第２・３・４週に各１日ずつ、14:00～16:30で実施
※全道一斉開催とします。

13:30	受付
14:00	【開講・オリエンテーション】
14:10 15:40	【講義５】授業づくりの実際 特別支援学級担当教員 通級指導教室担当教員 特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒にとって分かりやすく、学習に参加している実感や達成感をもたせることができる授業づくりの工夫について学びます。
15:50 16:20	【演習・協議】授業力向上に向けて 当センター所員 特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた授業づくりの課題について、演習・協議を通して明らかにし、課題解決の方策を検討します。
16:20	【講座の振り返り】
16:30	【閉講】

○　受講申込について
・本研修の日時及び受講申込は、通知及びWebページでお知らせします。
○　本研修（遠隔研修）について
・第３週及び第4週の【講義５】は、第2週に実施した講義を録画した動画を視聴します。

自主的コース２　　特別支援教育コーディネーター業務に関する基本的事項を理解するために

【基本コース】

特別支援教育コーディネーター基本コース

初めて特別支援教育コーディネーターを担当する教員が、教育相談等で必要となる基本的な知識・技能を身に付けます。

対象：特別支援教育コーディネーターを初めて担当する教諭（小・中学校、高等学校、特別支援学校等）
定員：50名

事前研修

【配信】５月10日（火）～　６月２日（木）

随時	【講義１】教育相談の在り方１（20分） 【講義２】教育相談の在り方２（20分） 【講義３】特別支援教育コーディネーターの役割（20分） 教育相談の担当者に求められる役割と適切な対応等について学びます。

本研修の前に、必ず事前研修を受講してください。

本研修

【遠隔】６月３日（金）

12:30	受付
13:00	【開講・オリエンテーション】
13:10	【講義４】特別支援教育コーディネーター業務の実際 小・中学校教員 特別支援学校教員
14:40	教育相談担当者の業務について、具体的な実践例を通して理解を深めます。
14:50	【演習・協議】教育相談の実践に向けて 当センター所員
16:20	教育相談業務の要点を整理するとともに、より望ましい対応に向けた協議を通して、教育相談業務についての理解を深めます。
16:20	【講座の振り返り】
16:30	【閉講】

○　受講申込について
・申込受付期間は、４月12日（火）9:00～５月９日（月）16:00です。

自主的コース３　幼児期における特別支援教育についての理解を深めるために

【基本コース】学校教育局特別支援教育課との合同企画　特別支援教育総合推進事業

幼稚園等特別支援教育コース

特別な教育的支援を必要とする幼児の理解を深めるための基礎・基本や、早期からの切れ目のない一貫した支援に関する知識・技能等を身に付けます。

対象：幼稚園、認定こども園及び保育所の教職員等
発達支援センター職員
定員：80名

事前研修

【配信】 ７月１日（金）～　７月27日（水）

随時	【説明】自主的コースの受講に当たって（10分） 【講義１】幼児の発達と障がいの特性の理解１（20分） 【講義２】幼児の発達と障がいの特性の理解２（20分） 【講義３】幼児教育と小学校教育の接続の円滑化について（20分） 幼児教育推進局幼児教育推進センター職員 幼児期における発達と障がいの特性や幼小接続等について学びます。

本研修の受講前に、必ず事前研修を受講してください。

本研修

【遠隔】 ７月28日（木）

12:30	受付
13:00	【開講・オリエンテーション】
13:10 13:40	【講義４】幼稚園等における特別な教育的支援を必要とする幼児への指導や支援の実際 幼稚園等の教職員 幼稚園等における特別な教育的支援を必要とする幼児への指導や支援について、実践事例を通して学びます。
13:50 14:30	【講義５】特別な教育的支援を必要とする幼児とその保護者及び関係機関との連携の在り方 発達支援センター等の職員 保護者に寄り添った連携や対応のポイント、関係機関との連携の重要性について、事例を通して学びます。
14:40 16:20	【協議】切れ目のない一貫した指導や支援の充実に向けて 当センター所員 早期からの切れ目のない一貫した指導や支援を行うための課題について、説明・協議を通して明らかにし、課題解決の方策を検討します。
16:20	【講座の振り返り】
16:30	【閉講】

○　受講申込について
- 申込受付期間は、５月24日（火）9:00～６月23日（木）16:00です。

○　受講証明書について
- 受講証明書を希望する方には、事前研修及び本研修全ての受講並びに受講後のリフレクションの提出をもって発行します。途中参加や途中退席の場合は発行できません。（勤務体制や通信環境・接続の準備等について、事前に確認してください。）

自主的コース４　高等学校における特別支援教育についての理解を深めるために

【基本コース】

高等学校特別支援教育コース

特別な教育的支援が必要な生徒一人一人の障がいの特性に応じた指導や支援の充実に向け、基礎的な知識・技能を身に付けます。

対象：高等学校の特別支援教育に関わる教諭等（中学校・高等学校・特別支援学校）
定員：50名

事前研修

【配信】 ８月29日（月）～　９月19日（月）

随時	【講義１】高校期における障がいの特性の理解（20分） 【講義２】特別な教育的支援が必要な生徒のニーズに応じた指導や支援（20分） 【講義３】高等学校における特別支援教育の充実について（20分） 学校教育局高校教育課職員 特別な教育的支援が必要な生徒への基本的な指導や支援について学びます。

本研修の前に、必ず事前研修を受講してください。

本研修

【遠隔】 ９月20日（火）

12:30	受付
13:00	【開講・オリエンテーション】
13:10 15:10	【シンポジウム】特別な教育的支援が必要な生徒の指導や支援について 高等学校教職員 高等学校の通級指導教室担当教員 スクールソーシャルワーカー ※話題提供（60分） ・高等学校における指導や支援の実際 ※シンポジウム（50分） ・特別な教育的支援が必要な生徒への指導や支援の充実に向けた校内外の連携の在り方について 特別な教育的支援が必要な生徒の指導や支援の実際に係る現状を踏まえ、連携の視点から意見を交流します。
15:20 16:20	【協議】生徒を支える校内外の支援体制及び連携の充実に向けて 当センター所員 高等学校教職員 高等学校の通級指導教室担当教員 スクールソーシャルワーカー 特別な教育的支援が必要な生徒の指導や支援の充実を図るための支援体制や連携の在り方について検討します。
16:20	【講座の振り返り】
16:30	【閉講】

○　受講申込について
・申込受付期間は、７月26日（火）9:00～８月22日（月）16:00です。

自主的コース５　　特別な教育的支援が必要な児童生徒の理解や校内体制の構築に向けて

【基本コース】

通常の学級における特別支援教育コース

①通常の学級における特別な教育的支援が必要な児童生徒の指導や支援に必要な知識・技能を身に付けます。
②学校教育全体で行う特別支援教育について、学校経営の視点から理解を深めます。

対象：①小・中学校等の通常の学級を担当する教職員
　　②小・中学校等の管理職員
定員：①50名
　　②30名

事前研修

【配信】 12月21日（水）～　１月12日（木）

随時	【説明】自主的コースの受講に当たって（10分） 【講義１】通常の学級における特別支援教育について（20分） 【講義２】通常の学級に在籍する特別な教育的支援が必要な児童生徒（20分） 通常の学級における特別支援教育の考え方の基本的事項について学びます。

本研修の前に、必ず事前研修を受講してください。

本研修

【遠隔】 １月13日（金）

	①教職員部会	②管理職員部会
12:30	受付	
13:00	【開講・オリエンテーション】	
13:10 14:40	【講義３】通常の学級における特別な教育的支援が必要な児童生徒の指導の実際 小・中学校教員 特別な教育的支援が必要な児童生徒に分かりやすい授業づくりや学級経営の工夫等について学びます。	【基調講義】学校教育全体で行う特別支援教育～カリキュラム・マネジメントの視点から～ 小・中学校管理職等 グランドデザインにおける特別支援教育の位置付け、校内支援体制の構築や教育課程の編成、指導の実践等について、カリキュラム・マネジメントの視点から理解を深めます。
14:50 16:20	【協議】学級全体に分かりやすい指導の工夫や個別の配慮について 当センター所員 小・中学校教員 特別な教育的支援が必要な児童生徒を含む学級全体に分かりやすい指導の工夫や個別の配慮について、課題解決の方策を検討します。	【協議】特別支援教育の推進に向けた学校経営における課題と対応 当センター所員 小・中学校管理職等 自校の特別支援教育に関する学校経営上の課題に関する対応について協議します。
16:20	【講座の振り返り】	
16:30	【閉講】	

○　受講申込について
・申込受付期間は、11月18日（金）9:00～12月14日（水）16:00です。

3　公開講義

◆　目的

特別支援教育の理解啓発の充実を図ることを目的に、研修講座の講義を一部公開します。

◆　一覧

番号	日　時	講義名	定員	申込期間
①	８月24日（水） 10:00～12:00	【特別講義】摂食及び嚥下に課題のある幼児児童生徒の口腔機能や嚥下機能について	70名	７月27日（水） 9:00 ～８月17日（水）16:00
②	８月24日（水） 14:20～16:20	【基調講義】障がいのある幼児児童生徒の安心・安全な摂食指導に係る心身の発達及びリハビリテーションについて	70名	
③	９月28日（水） 10:00～12:00	【基調講義】幼児児童生徒理解と保護者支援に視点を当てた教育相談	50名	８月31日（水） 9:00 ～９月21日（水）16:00
④	11月17日（木） 10:00～12:00	【基調講義】自立活動の意義を踏まえた効果的な指導の在り方	30名	10月20日（木） 9:00 ～11月10日（木）16:00
⑤	12月８日（木） 10:00～12:00	【基調講義】生活指導の充実に向けた学校や保護者との連携について	20名	11月10日（木） 9:00 ～12月１日（木）16:00

※公開講義は、全てウェブ会議サービス（Zoom）により実施します。

※公開講義の詳しい申込方法については、公開講義の受講手続（19ページ）を確認してください。

※公開講義の受講に当たっての留意事項については、公開講義の受講ガイド（22ページ）を確認してください。

4　研修支援

◆　目的

特別支援教育に関わる教職員等が、教育実践上の課題を自主的に解決するため、校内研修等における当センターと遠隔で行う研修や当センター所員を派遣する研修、当センターに来所して行う研修等を実施することにより、学校力や教職員の指導力の向上を図ります。

また、市町村教育委員会における支援体制の充実や人材育成の支援をするため、研修会や講習等を行うことにより、地域における特別支援教育の充実を図ります。

◆　内容

※　申込みは、当センターWebページから行うことができます。（詳細は20ページ参照）

当センターと遠隔で行う研修

1　概要

依頼者が主催する研修会等に、ウェブ会議サービス（Zoom等）及びテレビ会議システム等を活用し、当センター所員が講義・助言等を行います。

2　対象

学校、教育委員会、特別支援教育関係団体等

3　内容

(1) **校内研修等での講義・助言**

・教育課程や指導上の課題の解決等、校内研修の内容に応じて講義などを行います。

(2) **研究会等での講義・助言**

・教育委員会や任意の研究団体が主催する研究会等において、講義などを行います。

※Zoom等に接続するためのインターネット環境やパソコン等が必要です。

当センター所員を派遣する研修

1　概要

依頼者が主催する研修会等に、当センター所員を派遣し、講義・助言を行います。

2　対象

学校、教育委員会、特別支援教育関係団体等

3　内容

(1) **校内研修等での講義・助言**

・教育課程や指導上の課題の解決等、校内研修の内容に応じて講義などを行います。

(2) **研究会等での講義・助言**

・教育委員会や任意の研究団体が主催する研究会等において、講義などを行います。

当センターに来所して行う研修

1　概要

当センターに来所し、図書室で図書を閲覧したり、特定のテーマに基づき、教育資料等を活用したりして、自らの課題に応じた研修を行います。

2　対象

特別支援教育に関わる教職員及び教育委員会職員、特別支援教育関係団体職員

3　内容

〇　**自主的に行う研修**

・特別支援教育に関わる図書等を活用して、障がいの特性の理解や指導方法などについて研修したり、検査用具を実際に使用しながら、各種心理検査の方法などについて研修したりします。

※研修内容に応じて、当センター所員が情報提供を行うことができます。

研修用動画を視聴する研修

1　概要
　特別支援教育の基礎的・基本的事項に関する研修用動画の配信を行います。
2　対象
　特別支援教育に関わる教職員及び教育委員会職員等
3　内容
　(1) 特センライブラリ
　　・特別支援教育の基礎的・基本的事項について説明する研修用動画です。各動画は20分程度で構成されています。
　(2) 「校内研修プログラム」を活用した研修用動画
　　・学校において、「校内研修プログラム」に関する校内研修等を行う際に活用していただけるよう、研修シートや研修用動画を掲載しています。

特センライブラリで配信する動画の一覧は 17 ページを御覧ください

地域における教育相談の充実に向けて

教育相談指導者養成講習（特別支援学校）

1　概要
　特別支援学校の教員が、各地域の支援体制の充実に向け、指導的役割を果たすことができるよう、教育相談に必要な資質能力及び専門性の向上を図ります。
2　対象
　特別支援学校の教員で、現在又は今後、地域の教育相談で中核的役割を担うことが期待される教員
3　内容
　指定する研修講座の受講及び教育相談の実地研修、勤務校等における教育相談実務
4　申込方法
　新規の申込みは受け付けていません。令和２年度までにご登録いただいた方は、所属校を通じて所定の方法で継続登録してください。

教育相談担当者養成集中講座（小・中学校）

1　概要
　就学の相談を担当する人材を養成するため、市町村教育委員会が、今後、地域での活躍を期待する小・中学校等の教員を対象に実施する研修等を、巡回教育相談の日程等に合わせ、支援します。
2　対象
　市町村教育委員会教育長及び小・中学校長の推薦を受けた教員
　※高等学校の教員も、本講座の目的や内容に準じて登録することができます。
3　内容
　①基礎研修Ⅰ（動画視聴）　②基礎研修Ⅱ（遠隔もしくは巡回教育相談会場で実施）
　③専門研修（教育相談の見学など）　④ケース検討（来所もしくは遠隔で実施）
4　申込方法
　市町村教育委員会が、当センターに所定の様式を提出します。

令和4年度に配信を予定している研修用動画一覧

Ⅰ 特別支援教育 全般	１．特別支援教育の現状と課題 ２．特別の教育課程について ３．ＩＣＴ活用の基本的な考え方 ４．特別支援教育におけるＩＣＴ活用
Ⅱ 障がい の理解	１～２．各障がいの理解と関わり方について（視覚障がい） ３～４．各障がいの理解と関わり方について（聴覚障がい） ５～６．各障がいの理解と関わり方について（言語障がい） ７～８．各障がいの理解と関わり方について（知的障がい） ９～10．各障がいの理解と関わり方について（肢体不自由） 11～12．各障がいの理解と関わり方について（病弱） 13～14．各障がいの理解と関わり方について（自閉症・情緒障がい） 15～16．各障がいの理解と関わり方について（発達障がい）
Ⅲ 基本的な 教育的対応	１．自立活動の指導の基本について ２．各障がい種における自立活動の指導（視覚障がい） ３．各障がい種における自立活動の指導（聴覚障がい） ４．各障がい種における自立活動の指導（言語障がい） ５．各障がい種における自立活動の指導（知的障がい） ６．各障がい種における自立活動の指導（肢体不自由） ７．各障がい種における自立活動の指導（病弱・身体虚弱） ８．各障がい種における自立活動の指導（自閉症・情緒障がい） ９．各障がい種における自立活動の指導（ＬＤ・ＡＤＨＤ）
Ⅳ 学びの場に 応じた 指導支援	１．通常の学級における特別支援教育について ２．通常の学級に在籍する特別な教育的支援が必要な児童生徒 ３～４．幼児の発達と障がい特性の理解 ５．高校期における障がいの特性の理解 ６．特別な教育的支援が必要な生徒のニーズに応じた指導や支援 ７．寄宿舎における学校や保護者との連携について
Ⅴ 特別支援教育 ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの 資質向上	１．教育相談の基本について ２．心理検査について

※「特センライブラリ」の研修用動画は、順次追加する予定です。

5 受講・申込手続

(1) 研修講座の受講手続

【手続きに当たって】
・申込期日及び申込みの詳細については、別途通知します。
・１年間に一人１講座を限度とします。受講者は、各研修講座の全日程を受講できる方が対象となります。指導体制等の調整などについて、事前に御配慮願います。
・期限付教諭は、受講できません。
・集合研修の受講に係る旅費は、原則として、当センターが負担します。
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点から、内容の変更や中止となる場合がありますので、御了承ください。

【申込手続、決定通知】
①受講を希望される方は、所属長に申し出てください。
②所属長は、通知に基づき、「受講希望者名簿（別記様式１）」に取りまとめ、必ず管理職員から報告してください。
※研修講座ごとに定員を設定しており、希望者多数の場合は、調整の上、受講者を決定しますので、御了承ください。
※受講に当たり、障がいのある方に対する情報保障等の配慮が必要な場合は、「受講希望者名簿（別記様式１）」の所定の欄に記入願います。
③受講の可否は、道立特別支援学校は直接学校へ、道立高等学校は教育局を経由して、市町村立学校は教育局及び市町村教育委員会を経由してお知らせします。
※受講に関する連絡事項については、受講者の決定に係る通知に合わせてお知らせします。

【取消手続】
①受講決定者が受講できなくなった場合には、10日前までに所属長に申し出てください。
②所属長は、「受講取消届」（別記様式２）により、道立特別支援学校は当センターへ、道立高等学校は教育局へ、市町村立学校は市町村教育委員会へ報告してください。
※別記様式２については、Webページに掲載しています。

【変更手続】
①教育局は、道立高等学校及び市町村教育委員会から受講取消の報告があった場合は、道立高等学校や市町村教育委員会と協議の上、「受講変更届」（別記様式３）及び「受講希望者名簿（別記様式１）」により、変更後の受講者を当センターへ報告してください。
②道立特別支援学校は、受講取消の報告後、当センターと協議の上、「受講変更届」（別記様式４）及び「受講希望者名簿（別記様式１）」により、変更後の受講者を当センターへ報告してください。
※別記様式３及び４については、Webページに掲載しています。

(2) 自主的コースの受講手続

【手続きに当たって】
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点から、内容の変更や中止となる場合がありますので、御了承ください。

【申込手続】
・受講申込受付期間内にWebページから申込みください。
・コースごとに申込受付期間を設定しています。詳しくは9～13ページを確認してください。
※コースごとに定員を設定しており、受講希望者多数の場合は、受講申込受付期間中であっても申込みを締め切る場合がありますので、御了承ください。
※受講に当たり、障がいのある方に対する情報保障等の配慮が必要な場合は、申込フォームに入力してください。

①ホームページの「研修」タブをクリックする。

②研修メニューから「自主的コース」をクリックする。

③「自主的コース」から受講希望のコース名の申込フォームをクリックする。

④申込フォームに必要事項を入力する。内容を確認し、下部にある［決定］ボタンをクリックする。

⑤この画面が表示されると、申込完了です。

※Webページの画像は、令和３年度のものを例示しています。

【取消手続】
- 受講できなくなった場合には、10日前までに管理職から当センターへ連絡願います。
（北海道立特別支援教育センター研究・研修事業部　直通：０１１－６１２－６３２８）

⑶ 公開講義の受講手続

【手続きに当たって】
- 研修講座で開催される講義の一部を公開します。
- 各研修講座のうち、《公開①》等と表記されている講義が対象となります。

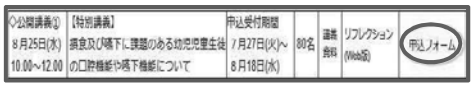
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点から、内容の変更や中止となる場合がありますので、御了承ください。
※公開講義の詳しい内容については、各研修講座（２～７ページ）及び公開講義一覧（14ページ）を確認してください。

【申込手続】
- 受講希望者は、Webページから申込みください。
- 各公開講義の申込期間を設定しています。詳しくは、公開講義一覧（14ページ）を確認してください。

※講義ごとに定員を設定していますので、受講希望者多数の場合は、受講申込受付期間中であっても申込みを締め切る場合があります。
※受講に当たり、障がいのある方に対する情報保障等の配慮が必要な場合は、申込フォームに入力してください。

【取消手続】
- 受講できなくなった場合には、受講者本人から速やかに当センターへ連絡願います。
（北海道立特別支援教育センター研究・研修事業部　直通：０１１－６１２－６３２８）

①ホームページの「研修」タブをクリックする。



③受講を希望する公開講義の「申込フォーム」をクリックする。

⑤この画面が表示されると、申込完了です。

②「研修メニュー」から「公開講義」をクリックする。

④申込フォームに必要事項を入力する。内容を確認し、下部にある［決定］ボタンをクリックする。

⑷ 研修支援の申込手続

【手続きに当たって】

○　当センターと遠隔で行う研修

・ウェブ会議サービス（Zoom等）による研修支援の可否については、申込み後、当センターから申込者に連絡します。

※ウェブ会議サービス(Zoom等)に接続するためのインターネット環境やパソコン等が必要です。

○　当センター所員を派遣する研修

・研修支援の可否については、申込み後、当センターから申込者に連絡します。
・講義内容等により、近隣の特別支援学校の教員を紹介する場合があります。
・派遣に係る旅費は、依頼者の負担になります。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点から、中止となる場合がありますので、御了承ください。

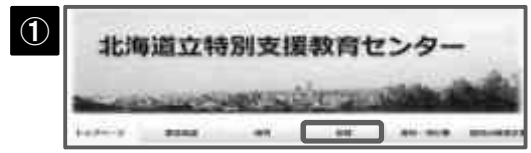
○　当センターに来所して行う研修

・研修の時間は、9:00～12:00、13:00～17:00（土・日、祝日・年末年始を除く）です。
・研修支援の可否については、申込み後、当センターから申込者に連絡します。

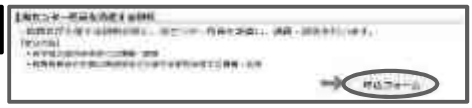
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点から、中止となる場合がありますので、御了承ください。

【申込手続】

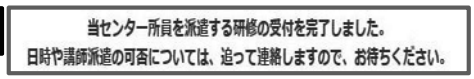
・希望者は、Webページから申込みください。



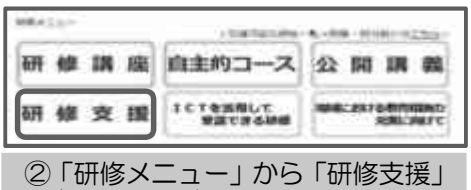
①ホームページの「研修」タブをクリックする。



③申し込む研修支援の内容を確認し、「申込フォーム」をクリックする。



⑤この画面が表示されると、申込完了です。



②「研修メニュー」から「研修支援」をクリックする。

④申込フォームに必要事項を入力する。内容を確認し、下部にある［決定］ボタンをクリックする。

6 受講ガイド

(1) 研修講座の受講ガイド

遅刻･欠席等の扱い

・研修講座を欠席したり、遅刻又は早退したりする場合は、下記の手順により必ず連絡してください。
・協議グループ等を編制・変更するため、欠席の場合は、10 日前までに連絡してください。

≪道立特別支援学校の場合≫
本人 → 所属長 → 当センター

≪道立高等学校の場合≫
本人 → 所属長 → 教育局 → 当センター

≪市町村立学校の場合≫
本人 → 所属長 → 市町村教育委員会 → 教育局 → 当センター

（北海道立特別支援教育センター研究・研修事業部　直通：０１１－６１２－６３２８）

受講上の留意点について　【集合研修】

・研修講座にふさわしい服装で受講してください。
・上靴と名札を各自持参してください。
・各自昼食を用意してください。（近隣にコンビニエンスストア等はありません。）
・ごみの持ち帰りをお願いします。
・施設内及び敷地内は、全面禁煙となっています。
・当センターの空調設備は部屋単位での調節が難しいため、必要に応じて室温の変化に対応可能な服装やひざ掛け等の準備をお願いします。
・Webページに、研修の受講に関わる連絡事項を掲載することがありますので、事前に確認してください。
・研修講座の受講に当たって必要な提出物の様式については、Webページに掲載します。（受講決定後、期日までに管理職員を通してメールで当センターへ送信してください。）

駐車場の利用について

・研修講座の受講者は、公共交通機関を利用してください。ただし、特別な理由（公共交通機関の便が悪いなど）により自家用車で来所する場合は、受講申込時にその旨を記入し、必ず所属長の「自家用車の公用使用承認」を受け、承認書（写）を研修当日、受付に提出してください。

受講上の留意点について　【遠隔研修】

・遠隔研修で利用するウェブ会議サービス（Zoom等）に接続するための機器等は、受講者自身が準備してください。なお、通信料は自己負担になります。
・遠隔研修においても、研修講座にふさわしい服装で受講してください。
・Webページに、研修の受講に関わる連絡事項を掲載することがありますので、事前に確認してください。
・研修講座の受講に当たって必要な提出物の様式については、Webページに掲載します。（受講決定後、期日までに管理職員を通してメールで当センターへ送信してください。）

⑵ 自主的コースの受講ガイド

遅刻･欠席等の扱い

- 自主的コースを欠席したり、遅刻又は早退したりする場合は、受講者本人から北海道立特別支援教育センター研究・研修事業部（直通：０１１－６１２－６３２８）へ連絡してください。
- 協議グループ等を編制・変更するため、欠席の場合は、10 日前までに連絡してください。

受講上の留意点について

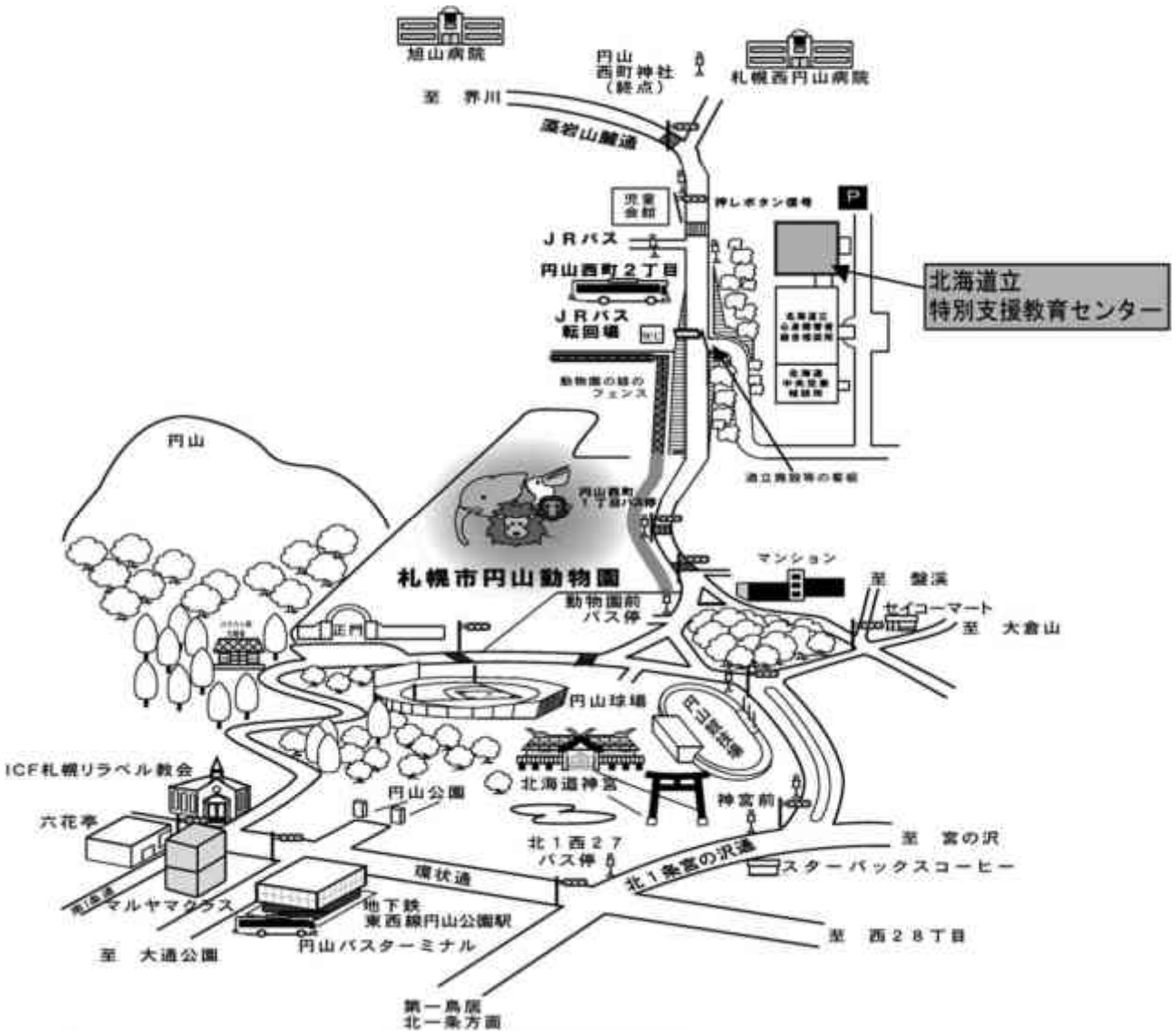
- 自主的コースは、配信研修及び遠隔研修として実施します。遠隔研修で利用するウェブ会議サービス（Zoom等）に接続するための機器等は受講者自身が準備してください。なお、通信料は自己負担になります。
- 遠隔研修においても、研修にふさわしい服装で受講してください。
- Webページに、研修の受講に関わる連絡事項を掲載することがありますので、事前に確認してください。
- 受付開始時刻は、各自主的コースにより異なります。予定時刻から受付を始めますので、事前に確認してください。

⑶ 公開講義の受講ガイド

受講に当たって

- 公開講義を欠席する場合は、受講者本人から北海道立特別支援教育センター研究・研修事業部（直通：０１１－６１２－６３２８）へ連絡してください。
- 公開講義は、全て遠隔研修として実施します。遠隔研修で利用するウェブ会議サービス（Zoom等）に接続するための機器等は、受講者自身が準備してください。なお、通信料は自己負担になります。
- Webページに、研修の受講に関わる連絡事項を掲載することがありますので、事前に確認してください。

7　アクセス



１　地下鉄東西線「円山公園」下車
２　円山バスターミナルから
　円１５・循環円１５　動物園線（円山西町神社前行）
　又は
　円１６・循環円１６　動物園線（円山西町２丁目行）に乗車
３　「円山西町２丁目」で下車、徒歩５分

表紙のデザインコンセプト

Adobe Illustrator のパスファインダーの機能を活かし、幾何形体を膨張させながら、多少のラフさも印象に加わるよう表現を工夫して製作しました。

北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科第１学年　坂　本　拓　登　さん

令和4年度（2022年度）北海道立特別支援教育センター研修事業案内

発行/北海道立特別支援教育センター

所在地/〒064-0944 北海道札幌市中央区円山西町2丁目1番1号

TEL（011）612-6211（代表） FAX（011）612-6213

研修事業に関する問合せ

TEL ……（011）612-6328（直通）

E-mail ……kensyu@hokkaido-c.ed.jp

URL ……http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/

北海道高等聾学校 専攻科 情報デザイン科
マスコットキャラクター「デジくん」

この表紙のデザイン及びDTPデータの作成は、
北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科の生徒が行いました

Copyright 2022 TakutoSAKAMOTO